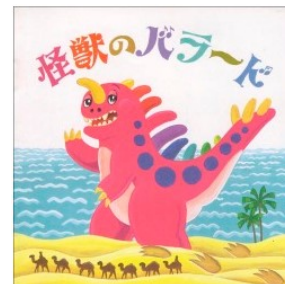


怪獣のバラード

真赤な太陽 沈む砂漠に
大きな怪獣が のんびり暮らしてた
ある朝 目覚めたら
遠くにキャラバンの鈴の音聞こえたよ
思わず叫んだよ
海が見たい 人を愛したい
怪獣にも 心はあるのさ
出かけよう 砂漠すてて
愛と海のあるところ

真赤な太陽に 昇る たつまきを
大きな怪獣は 涙で見つめてた
自分の足跡に 両手をふりながら
東へ歩いたよ 朝昼夜までも
海が見たい 人を愛したい
怪獣にも 望みはあるのさ

あたらしい太陽は燃える
愛と海のあるところ Yah!



かいじゅうのバラード

まっかなたいようしずおさばくに
大きなかいじゅうがのんびりくらしてた
あるあさめざめたら
とおくにキャラバンのすずのおときこえたよ
おもわずさげんだよ
うみが見たいひとをあいしたい
かいじゅうにもころろはあるのさ
でかけようさばくすてて
あいとうみのあるところ

まっかなたいようにのぼるたつまきを
大きなかいじゅうはなみだで見つめてた
じぶんのあしあとにりょう手をふりながら
ひがしへあるいたよあさひるよるまでも
うみが見たいひとをあいしたい
かいじゅうにものぞみはあるのさ

あたらしいたいようはもえる
あいとうみのあるところ
あたらしいたいようはもえる
あいとうみのあるところ Yah!

